



第9期 株主通信

第2四半期

2023年1月1日~6月30日

BUSINESS REPORT



 日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

We Craft Your Imagination.

目次

P3	株主のみなさまへ
P4	今期の事業概要
P6	事業戦略
P8	新規グループ参画会社紹介
P10	連結業績ハイライト
P12	連結財務諸表
P14	会社情報/株主メモ

お客さまのご要望にお応えし、クリエイティブの制作から配信まで ワンストップのサービスをご提供いたします。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、株式会社日本創発グループ第9期(2023年1月1日~2023年6月30日)の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間では、ウィズコロナ政策への転換により行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化、経済持ち直しの動きが見られました。全国旅行支援施策の実施やインバウンド消費の回復など、景気は緩やかな回復基調で推移しました。イベントも多く開催されるようになり、企業の販促・広告活動に持ち直しの動きがみられ、販促ツール・サービスの需要が増加いたしました。一方、電気・ガスの燃料、紙やインクなどを含めた原材料価格は未だ上昇の傾向にあり、先行き不透明な状況が続きました。当社企業グループは、事業環境の変化や事業戦略に基づき、将来の成長分野に事業資産を機動的に集中させております。企画提案・製造・制作から配信までをトータルでカバーできるユニークな企業体として、クリエイティブサービス事業の領域拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高359億53百万円(前年同期比22.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億75百万円(前年同期比77.7%増)となりました。

私たちは、今後も社会の変化に柔軟に対応し、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、お客さまにとって必要不可欠な存在であり続けたいと考えています。そのためにも、クリエイティブサービス事業を中心としたビジネス展開を積極的に推進し、株主のみなさまのご期待に応えるべく、一段と努力してまいります。

みなさまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2023年8月

代表取締役社長 藤田 一郎

今期の事業概要

経済活動の回復と事業拡大

新型コロナウイルスの感染拡大防止策が浸透し、感染状況も小康状態となりました。2023年第2四半期連結累計期間は、日本国内におけるさまざまな経済活動が活発化したこともあり、日本創発グループが設立されてより最高の売上高と利益を計上することができました。またEBITDA*は29億円となりました。当社企業グループの売上比率の多くを占める印刷関連事業において、日本国内の印刷関連マーケットの規模は年々減少傾向にあります。付加価値の高い印刷技術を活用した印刷物の需要は安定しています。プロダクツ事業においては、環境負荷に配慮した商品の開発販売をスタートするなど、これからの社会ニーズに

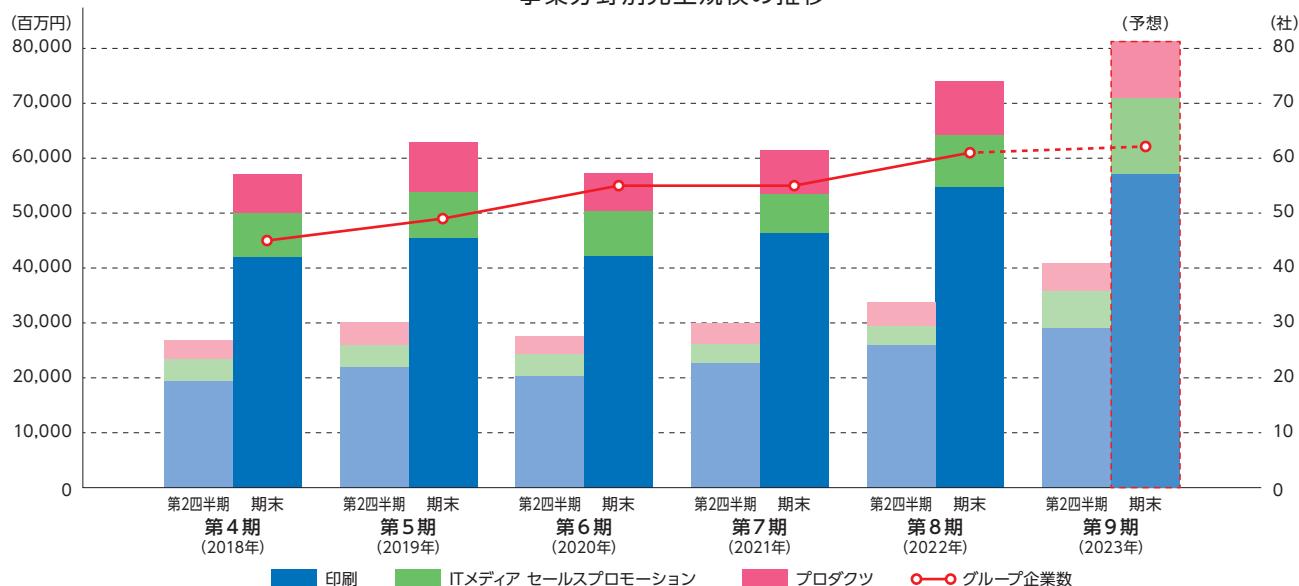
合わせた商品の提供をスタートすることができました。

ITメディア セールスプロモーション事業では、雑誌やムック本の制作出版や、WEBなどの自社メディアの制作運営、XRスタジオにて撮影したCMやショートムービーの制作など、IT技術メディアを活用し専門性が高いソリューションをご提供しております。

当社企業グループは、お客さまの多様化したニーズにお応えするためワンストップで企画提案から製造制作、効果測定、運用改善コンサルティングまで、トータルでサポートさせていただくことで、今後も事業拡大させていきます。

*EBITDA=経営利益+減価償却費+のれんの償却額+金融費用

事業分野別売上規模の推移

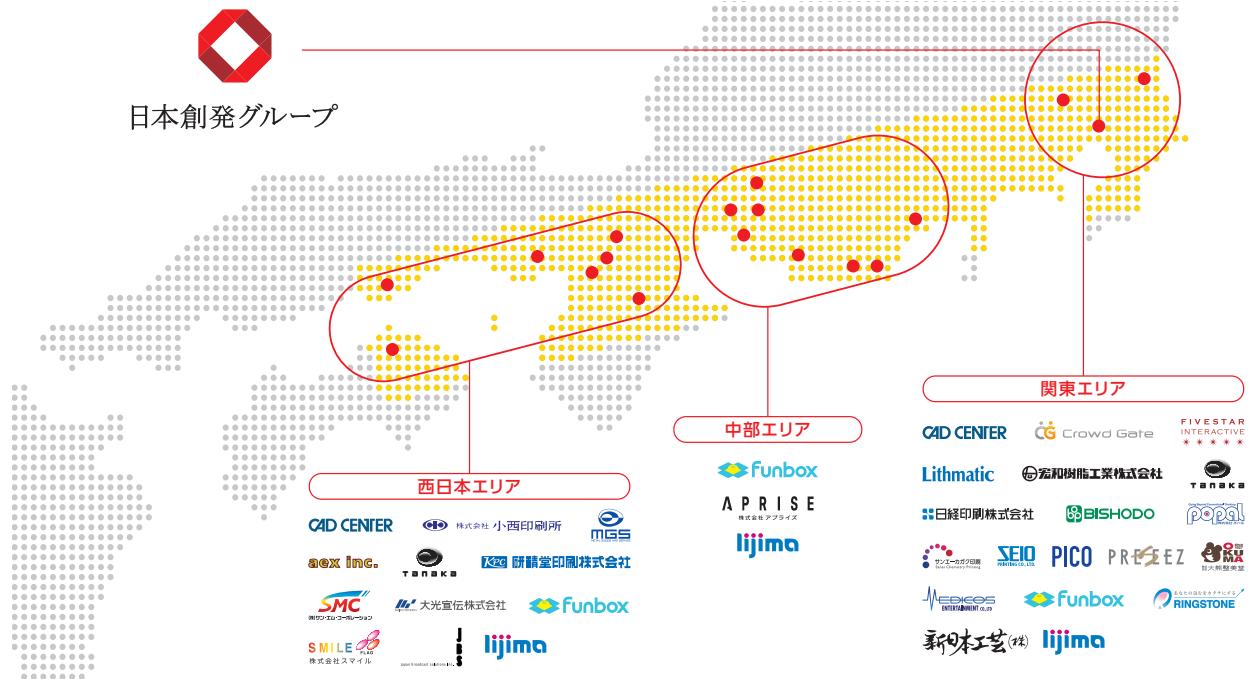


※グラフの値はグループ各社の売り上げを単純合計したものです。

地方中核都市における事業領域の強化

2022年12月に連結対象とした大光宣伝株式会社および株式会社大宣工房は、奈良県など関西地区を事業の中心としており屋外広告・交通広告を中心に企画・開発から制作・保守管理まで独自のノウハウと実績を築いてきました。今後多くのお客さまに当社企業グループのソリューションをご提供することにより事業拡大が期待されます。2023年3月には映像・音楽・グラフィックの制作とイベントの企画運営を行っている株式会社バックストリートを第三者割当増資により持分法適用関連会社としました。6月にはグラフィックデザイン、CG・VFX、イラストレーション、イベント、プロモーション動画等の企画

制作のノウハウを持ち、ICT知見に基づいた教育用デジタル教材としてのソフトウェア開発の受託・販売、学校・自治体のICT化のサポート事業を行う株式会社グレートインターナショナルを連結子会社としました。売上規模の多くを占める印刷関連事業は、経済活動の復活に伴いコロナ禍以前の活気を取り戻しつつあります。これまで持分法適用関連会社であった飯島製本株式会社の出資比率を高め連結子会社とし、西日本エリア・中部エリア・関東エリアの広域にわたり、企画、製造加工から出荷にいたるまでグループ内で行うことができる印刷関連事業をキャパシティと生産効率の両面から強化してまいります。

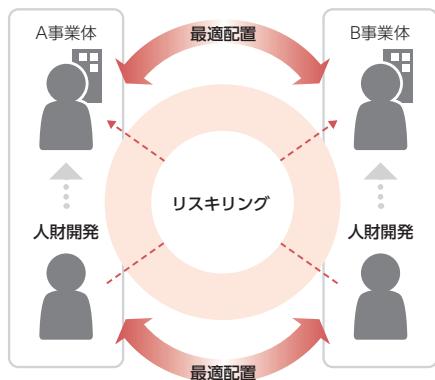


サステナブルな事業拡大と、人的資本ポートフォリオの活性化

事業規模の拡大とともに、その継続的な成長のため組織整備や仕組みづくりが重要であると考えています。新型コロナウイルスの感染拡大は収束しつつありますが、大きな社会変化をもたらし、国内外を問わず消費行動の変化など経済活動を含め社会は大きく変容しました。当社は当社の前身である東京リスマチックが1972年に創業して以来、主としてM&Aにより印刷関連事業、ITメディア、セールスプロモーション事業、プロダクツ事業と専門性を持つ企業にグループとして参画していただき、当第2四半期連結累計期間末にて連結子会社38社の社員数3,000名を超える企業グループとなりました。

専門性の高いソリューションを組み合わせ新しい付加価値を創出し、多様化するお客さまのクリエイティブニーズにお応えしています。この新しい付加価値を創発するためには、事業ポートフォリオに加え人的資本ポートフォリオのマネジメントが重要であると考えています。人財の採用と教育研修によるリスキングを積極的に行い事業領域にとらわれずに最適配置を進めています。

■人的資本ポートフォリオ



■企画から実行まで、日本創発グループが全体をカバー



日本創発グループのSDGsへの取り組み

世界的な異常気象の報道が相次いでおり、地球規模での環境負荷軽減の取り組みの重要性が増しています。印刷関連事業およびITメディア セールスプロモーション事業においては、2021年より事業活動に関するCO₂排出量を継続して記録してまいりました。2023年第2四半期連結累計期間におけるCO₂排出量は、2022年第2四半期連結累計期間に比較して7%増加しました。売上高の増加率22%に比較し小幅な増加にとどまったのは、事業活動が活発化したにもかかわらず、電気、熱・蒸気など熱源の値上がりもあり、出来る限り削減に取り組んだことによるものです。

今後とも当社企業グループは環境保全に向けた活動に積極的に取り組んでまいります。



	Scope1	Scope2	Scope3	合計	前年同期比	前年同期 合計(t-CO ₂)
2023年1月～6月	3,201	10,731	101,675	115,607	107%	107,628

※日本創発グループ 印刷事業・プロダクツ事業 16社

- Scope1** 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- Scope2** 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- Scope3** 上記以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

去年は新工場完成によるScope3が上昇していた。
Scope1 Scope2も削減できている。

温室効果ガス排出量の算出にはScope1～3の範囲が存在します。



新規グループ参画会社紹介



2023年3月持分法



株式会社バックストリート

映像・イベント・音楽・グラフィックのプロデュース

東京都渋谷区神宮前1-20-13 ノーサレンダービル3F

<https://www.backstreets.jp/>

持分法適用関連会社 議決権比率:47.83%

バックストリートは、映像・音楽・グラフィックの制作とイベントの企画運営を行っています。常に新しいサービスや高い品質、安心感などを提供することを心がけており、多様なニーズに柔軟にお応えしながらクライアントと一体となり企画のプロデュースをすることで、お客さまに満足と

ご納得をいただけるサービスを展開しています。

特に、幼児・児童向けの教育用映像・WEBメディアの企画制作関連事業に関して精通した企業であり、今後のメディア拡大とともに、事業の成長が期待される企業です。



2022年12月連結



DAIKO SENDEN



DAISEN KOUBO

大光宣伝株式会社

交通広告・屋外広告の企画制作

奈良県生駒市元町1丁目6-12 生駒セイセイビル 5F

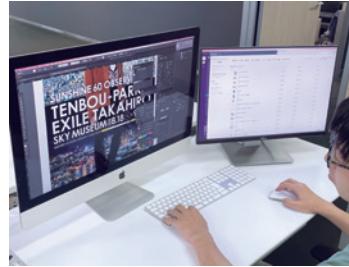
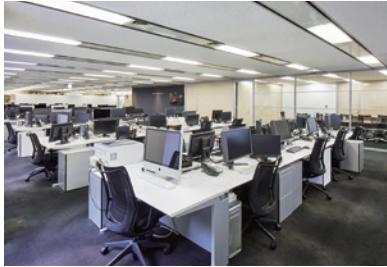
<http://www.daikosenden.com>

連結子会社 議決権比率:100%

大光宣伝は、1939年の創業以来80余年にわたり、トータルセールスプロモーションの専門会社として屋外広告・交通広告を中心に、企画・開発から制作・保守管理まで、独自のノウハウと実績を築いてきました。奈良県生駒市に本社・大阪市に支店を置き、関西地区で展開する企業、学校法人・病院クリニックなどのお客さまの広告

ニーズにお応えしています。

メディアが多様化しており、時流に合致したお客さまのニーズに的確にお応えするため、広告活動を集客とブランド構築の2点に絞り込み、ブランディングデザインを各種コンテンツに効率的かつ総合的に配分することで、費用対効果の高い提案を行っています。



2023年6月連結



株式会社グレートインターナショナル

クリエイティブ制作・学校教育向け教材及びICT機器の販売

東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館4F

<https://www.great-inter.com/>

連結子会社 議決権比率:100%

グレートインターナショナルは、テレビ番組のクリエイティブワークを祖業とし、既成概念にとらわれず「オモシロイことをしよう!」をスローガンに、常に課題に挑み続け、新しい価値を創り続けるべく変わり続けるデザインプロダクション企業です。

グラフィックデザイン、CG・VFX、イラストレーション、イベント、プロモーション動画等の企画制作のノウハウを持ち、ICT知見に基づいた教育用デジタル教材としてソフトウェア開発の受託・販売、学校・自治体のICT化のサポートへ事業範囲を拡げています。



藤岡工場(愛知県)



嵐山工場(埼玉県)



東郷工場(愛知県)



八尾工場(大阪府)



恵那工場(岐阜県)

2023年6月連結



飯島製本株式会社

印刷物加工・製本・発送・
管理等関連サービス

愛知県名古屋市名東区高社1-86

<http://www.ijimabb.com/>

持分法適用関連会社 議決権比率:70.0%

1921年に創業し100年以上の実績を持つ総合製本会社です。名古屋市に本社を置き、中京圏の3工場に加え、関東圏、関西圏にも各1工場を有して広域なエリアをカバーするほか、他社に抜きんできた製造設備によって業界トップレベルの生産能力を保持しております。

当社企業グループのソリューションと同社のインフラ設備やノウハウなどを融合させることで、互いに商材の付加価値の向上を狙うとともに、物流を含む生産効率のアップ、商圏の拡大、そして幅広いサービス展開を目指して取り組みを強化してまいります。

連結業績ハイライト

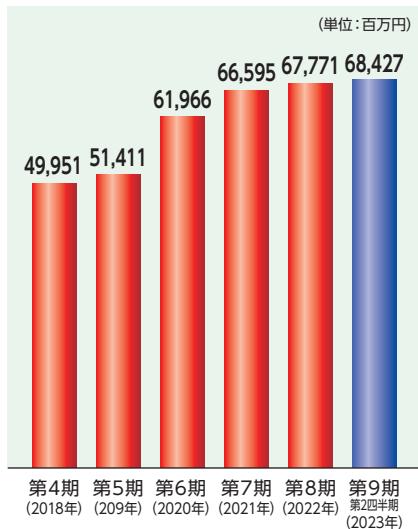
◆ 売上高



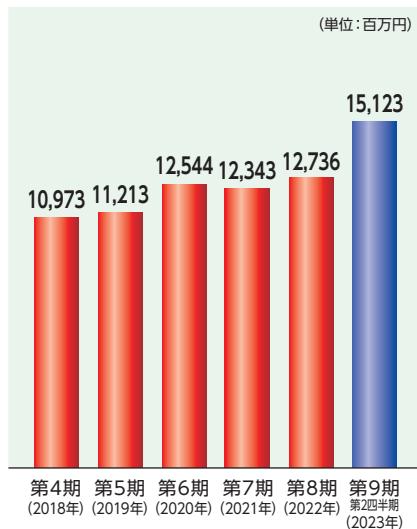
◆ 営業利益



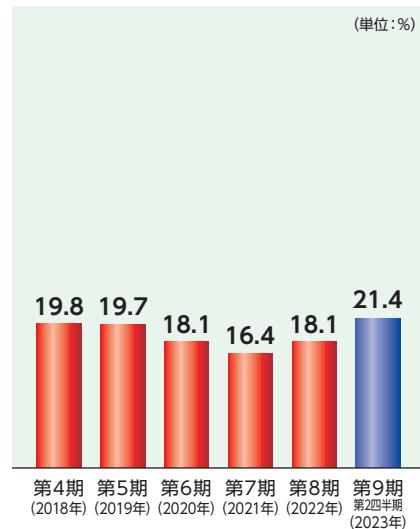
◆ 総資産



◆ 純資産

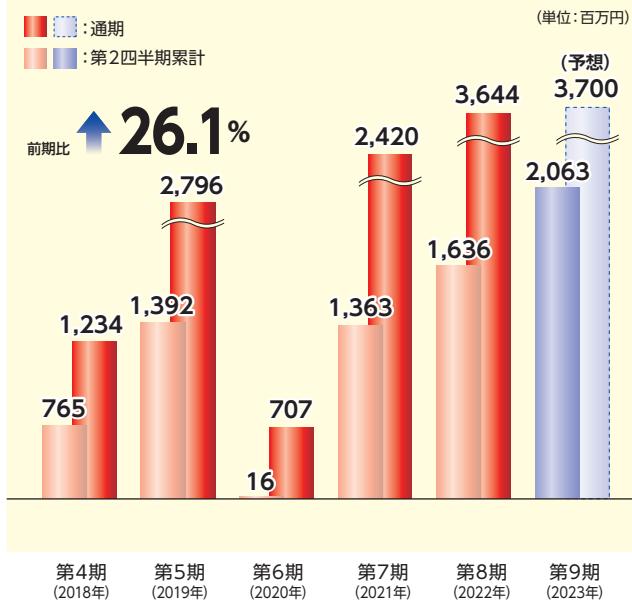


◆ 自己資本比率

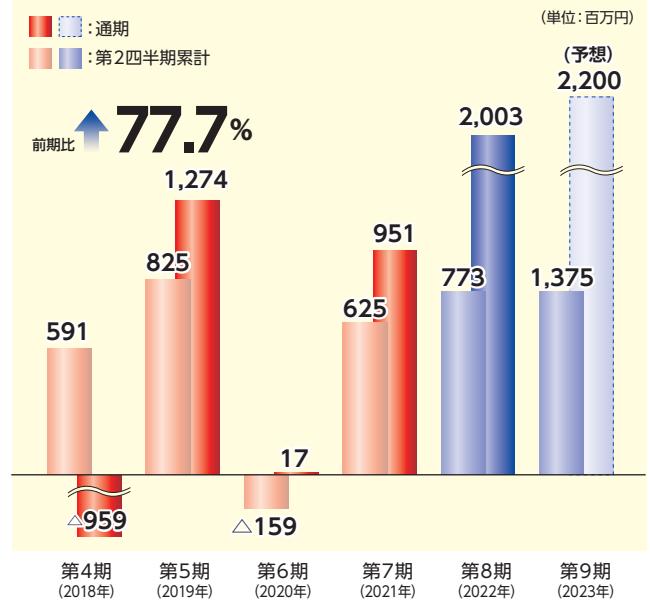


※ 第5期より、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正（企業会計基準第28号2018年2月16日）等の適用による表示方法の変更を行ったため、第4期の総資産については当該変更を反映した遡及修正を行っております。

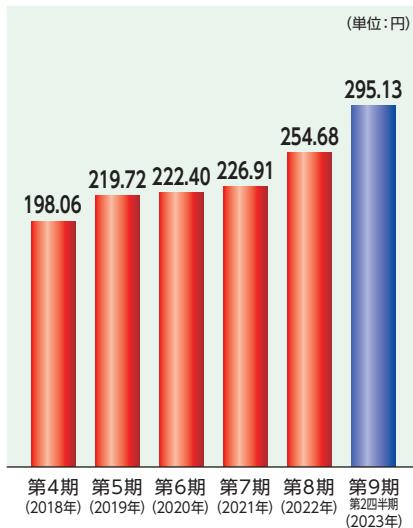
◆ 経常利益



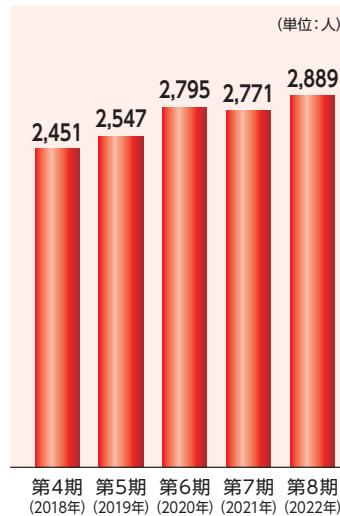
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益



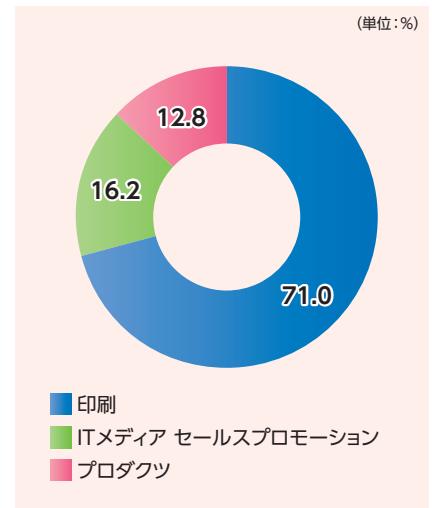
◆ 1株当たり純資産



◆ 従業員数



◆ 売上構成比



※ 2020年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っており、第1期期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

連結財務諸表

◆ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前 期		当 期		科目	前 期		当 期	
	2022年12月31日現在		2023年6月30日現在			2022年12月31日現在		2023年6月30日現在	
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	29,953	30,553	流動負債	41,360	40,018				
現金及び預金	10,400	10,899	買掛金	5,032	4,699				
受取手形、売掛金及び契約資産	12,867	11,909	短期借入金	27,000	27,000				
その他	6,684	7,744	その他	9,327	8,318				
固定資産	37,818	37,874	固定負債	13,675	13,285				
有形固定資産	25,479	27,186	長期借入金	10,650	9,450				
建物及び構築物	7,729	8,035	退職給付に係る負債	134	203				
機械装置及び運搬具	2,671	3,316	その他	2,891	3,632				
土地	14,773	15,486	負債合計	55,035	53,304				
その他	304	347	(純資産の部)						
無形固定資産	1,420	1,777	株主資本	12,153	14,125				
のれん	201	525	資本金	400	400				
その他	1,218	1,252	資本剰余金	5,461	5,949				
投資その他の資産	10,918	8,910	利益剰余金	8,144	9,288				
投資有価証券	4,948	5,382	自己株式	△ 1,852	△ 1,512				
その他	5,970	3,528	その他の包括利益 累計額合計	133	494				
資産合計	67,771	68,427	非支配株主持分	449	503				
			純資産合計	12,736	15,123				
			負債及び純資産合計	67,771	68,427				

◆ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2022年1月1日から 2022年6月30日まで	2023年1月1日から 2023年6月30日まで
売上高	29,399	35,953
売上原価	20,792	26,126
売上総利益	8,607	9,826
販売費及び一般管理費	7,046	8,156
営業利益	1,560	1,670
営業外収益	594	598
営業外費用	519	205
経常利益	1,636	2,063
特別利益	315	584
特別損益	403	488
税金等調整前当期純利益	1,548	2,159
法人税等	749	793
非支配株主に帰属する当期純利益	24	△ 9
親会社株主に帰属する当期純利益	773	1,375

◆ 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2022年1月1日から 2022年6月30日まで	2023年1月1日から 2023年6月30日まで
当期純利益	798	1,366
その他有価証券評価差額金	△ 1	360
繰延ヘッジ損益	1	1
退職給付に係る調整額	△ 14	—
その他	8	△ 1
その他の包括利益合計	△ 6	360
包括利益	792	1,727

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2022年1月1日から 2022年6月30日まで	2023年1月1日から 2023年6月30日まで
営業活動によるキャッシュフロー	1,525	1,872
投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,367	284
財務活動によるキャッシュフロー	△ 1,151	△ 1,646
為替換算差額	1	2
現金及び現金同等物の増減額	△ 991	512
現金及び現金同等物の期首残高	12,217	10,355
現金及び現金同等物の期末残高	11,226	10,868

◆ 連結株主資本等変動計算書 (2023年1月1日から2023年6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 剰 余 金	本 金 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益		
当期首残高	400	5,461	8,144	△ 1,852	12,153	137	△ 4	133	449	12,736
当期変動額										
剰余金の配当			△ 266		△ 266					△ 266
親会社株主に帰属する当期純利益			1,375		1,375					1,375
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
譲渡制限付株式報酬				11	11					11
持分法の適用範囲の変動			34		34					34
連結子会社株式の取得による持分の増減		0			0					0
株式交換による増加		480		329	809					809
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		7			7					7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						359	1	360	53	414
当期変動額合計	—	488	1,143	340	1,972	359	1	360	53	2,386
当期末残高	400	5,949	9,288	△ 1,512	14,125	496	△ 2	494	503	15,123

会社情報／株主メモ

■ 会社概要

商号 株式会社日本創発グループ
英文商号 JAPAN Creative Platform Group Co., Ltd.
事業内容 傘下グループ会社の経営管理およびそれに付随する業務
設立年月日 2015年1月5日
本社所在地 〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6
資本金 400,000,000円
決算期 12月31日
会計監査人 PwCあらた有限責任監査法人
取引金融機関 みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
連結従業員数 2,889名(2022.12.31時点) ※臨時雇用者は含まれておりません。
顧問弁護士 荒山國雄法律事務所

■ 株式情報

証券コード 7814
上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式総数 55,271,736株
1単元の株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行
決算期 12月31日
定時株主総会 3月

■ 役員

代表取締役社長 藤田 一郎
取締役 鈴木 隆一
取締役 林 基史
取締役 菊地 克二
取締役 監査等委員 瀬島 仁志(社外)
取締役 監査等委員 野沢 佳津夫(社外)
取締役 監査等委員 寺田 正主(社外)
取締役 監査等委員 篠崎 祥子(社外)
取締役 監査等委員 菅波 希衣子(社外)
取締役 監査等委員 儘田 佳代子(社外)
取締役 監査等委員 山下 あや(社外)
取締役 監査等委員 三好 真由美(社外)

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公告方法	電子公告 URL: http://www.jcpg.co.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、
当社企業グループをご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。

URL <https://www.jcpg.co.jp>

日本創発グループ

検索



■ グループ中核概念

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

Mission

ビジョンの実現に向けて、
日本創発グループがなすべきこと

Value

ビジョンとミッションの下、
日本創発グループが
お客さまや社会に提供する価値

We Craft Your Imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

チームワーク お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、ベスト・パートナーとなることをめざします。そのためにも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技 私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質 納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳のない高い品質を実現します。

プラスαの追求 私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える成果をお届けし、その笑顔を見ることが。もっとその笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、お客さまにととのプラスαを追求し続けます。

我が事として 私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力 私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と会社が結びつき、切磋琢磨している集団です。そこに息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しながら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ 私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、今まで見たことのないカタチでターゲットの心に刻みつけていきます。

良き市民 私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

表紙写真について

①	②	③	
④			
	⑤	⑥	
		⑦	⑧

- ①耐熱、耐摩に強い加工や艶出しなどで、お客さまの印刷メディアをより強く、美しく仕上げます。(宏和樹脂工業株式会社)
- ②木製ノベルティを作る際に発生する木の端材もグッツに。ヒノキ木粒(こつぶ)がふわりと香る「サジェ」はアパレルブランドや女性向けのノベルティとしても人気です。(FRONTIER JAPAN株式会社)
- ③広告宣伝物、出版物、デジタルメディアの企画・編集・ライティングも可能。ひとつのメディアを作り込むだけでなく、複数メディアにわたるご提案もいたします。(株式会社Playce)
- ④全ての建物をフルテクスチャ化した3次元都市データ[REAL 3DMAP]シリーズ。都市空間をフォト・リアリティックに再現するコンテンツ制作が可能です。(株式会社キヤドセンター)
- ⑤従来再生が難しかった廃棄プラスチックを活用したクリアファイル。再生率70%のPP製品を安定してご提供できるようになりました。(田中産業株式会社)
- ⑥製本に特化した工場では、品質・作業スピードが向上する最新設備を常に導入。お客さまの多様なご要望にお応えします。(飯島製本株式会社)
- ⑦スマホ本体とケースの間に挟み込み、ストラップを付けることでスマホホルダーとして使える「フォンタブ」。推し活グッズとして若い世代に人気です。(東京リスマチック株式会社)
- ⑧屋外サインディスプレイの企画から施工までをトータルプロデュース。導線も考慮して、見る人の心に瞬間的にアプローチします。(大光宣伝株式会社)



SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

株式会社 日本創発グループ

〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6

TEL.03-5817-3061

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを
採用しています。